

(別紙2)

地球温暖化対策計画書の概要(公表用)

1 事業者の概要

法人名 代表者名	矢崎シスコムプラス株式会社 代表取締役社長 朝比奈 克好	市内の 主たる住所	相模原市中央区相模原5-2-1 -2A
主たる事業 の内容	開発設計(自動車部品)		

2 計画期間

令和5	年度	~	令和7	年度
-----	----	---	-----	----

3 温室効果ガスの排出の抑制等を図るための基本方針

脱炭素化社会の実現に向けた取り組み方針 脱炭素社会の実現に向けた取り組みを社会的責任として また企業価値を高める機会としてグループ全体で一丸となって取り組む為、 全部門が連携するグローバル対応組織を構築し、脱炭素社会の実現に向けた活動を積極的に推進する。 ②CO2排出削減案を織り込んだ「削減方策着眼点一覧」を作成し、各事業所で取り組みの横展開を図る。 CO2削減に向け、ライフサイクルにおけるCO2排出量の見える化を行ない環境配慮型製品のさらなる開発促進を推進する。
--

4 温室効果ガスの排出量及び排出の抑制に関する目標

基準年度 排出量	16 t-CO2	目標年度 排出量	12 t-CO2
排出削減量	4 t-CO2	排出削減率	25.2 %
(原単位を設定した場合)原単位排出量削減率			%

5 温室効果ガスの排出の抑制等を図るために実施しようとする措置の内容

実施予定年度	措置の内容
令和6年度	本社内の蛍光灯36台を高効率照明器へ更新
令和7年度	本社内の空調機2台を高効率空調設備へ更新
令和5年度~ 令和7年度	照明設備の消灯促進
令和5年度~ 令和7年度	デマンド制御導入

6 その他地球温暖化対策の推進に寄与する取組等

<p>・弊社を含む矢崎グループでは環境配慮設計について独自の認定基準を設け、開発部門において設計段階から製品に関わる環境負荷の低減と製品の付加価値の向上を目指している。また、製品のライフサイクル(製造、使用段階)における環境影響をLCA(ライフサイクルアセスメント)手法を用いて評価し、社内認定基準を満たした開発製品は環境配慮型製品として認定している。</p> <p>・弊社の省エネ推進活動を通じて、事業活動に伴うCO2排出量の低減に貢献する。</p> <p>・日々の通勤や出張時において公共交通機関を推奨することにより移動に伴うCO2排出量の抑制を行なっている。</p> <p>・グループにおける地球温暖化対策の活動はCSRレポートなどで公開しており、事業所の所在地域を含めた省エネや温暖化対策への取組みの普及を行なっている。</p>
--